

# 議案30件を審議 原案どおり可決

令和8年第1回議会定例会及び第2回議会臨時会が開かれ、提出された議案を慎重に審議しました。今号では、主な審議内容を2つピックアップし、ご紹介します。

〈第1回議会定例会〉

## ふるさと応援寄附金 4、500万円を増額補正

ふるさと応援寄附金が予算見込みを上回ったことに伴い、寄附金収入4、500万円を増額補正するものです。

### ふるさと納税の状況 (令和8年4月6日現在)

年度	件数	金額
令和3年度	2229件	3,553万9,574円
令和4年度	1730件	3,113万1,500円
令和5年度	2838件	4,395万8,700円
令和6年度	7195件	1億2,427万2,000円
令和7年度	3278件	8,292万2,500円

※ふるさと応援寄附金は、約半分を返礼品や事務手数料等に、残りの半分は寄附の目的に沿って町の事業に活用されています。

〈第2回議会臨時会〉

## 災害時避難所に 授乳ブースなどを設置

国の令和7年度補正予算における地域未交付金(地域防災緊急整備型)を活用し、災害時の避難所として指定している農村環境改善センター・体育館と比布中央学校体育館の環境改善を行うため、470万円を増額補正するものです。

なお、農村環境改善センター・体育館には、乳幼児を持つ母親が安心して過ごせるよう授乳ブースの設置を行い、比布中央学校体育館では遮光カーテンを更新し、夏季の室温上昇及び冬季の室温下降を防ぎ、快適に過ごせるように機能向上を図ります。

### pickup2 議案第1号 令和7年度一般会計補正予算(第11号)



▲授乳ブース (イメージ)



▲遮光カーテン (イメージ)

### 傍聴者の声



議会を傍聴された方に、一般質問や審議などの感想やご意見をお聞かせいただきたくアンケートを実施しています。お寄せいただいたご意見の一部をご紹介します。

Q 比布町の駅に比布広報と一緒に議会だよりも置いてほしい。

A ご意見ありがとうございます。現在、比布駅に議会だよりを配置しています。お立ち寄り際には、ぜひご覧ください。

アンケートへのご協力ありがとうございました。



## 社会福祉分野の予算配分と 事業者支援のあり方について

村中町長

### 官民が連携しながら本町の公共的 団体として活躍されるよう支援する



うえにし こういち  
**榎西 浩一 議員**

□質問・榎西議員

住民が必要なときに、それぞれの状況に応じた適切なサービスを受けられる体制を維持するため、社会福祉関連予算の配分をどのような考え方で行っていますか。

■答弁・村中町長

予算編成にあたっては、社会福祉分野に限らず公共の福祉の向上に資する事業について、各課からの予算要求内容を協議して予算案を決定しており、社会福祉関係予算については、町民の生活に直結する分野が多いことから、優先順位の高い分野であると考えます。

また、社会福祉法人は、本町に必要な公共的団体と捉えており、これらの事業者の皆様が地域のために、地域に密着した事業を展開いただくことに対しては、今後も支援を続けていきたいと思っております。

□榎西議員 支援は継続して行っているとのことですが、人件費が経営を圧迫しているのではないかと言われているようです。最低賃金が上がった時期と運営計画を立て始めた時期にズレがあることや介護保険の支給基準が追いついていないことに問題があるように思っています。そのため改善には相当な

時間が掛かることが予想されます。利用料金を物価に併せて上げられるような状況となって初めて正常化していくのではないかと思います。それが、それまで満額で補助する考えはありませんか。

■村中町長

運営費をすべて支援することは、経営改善に向けて努力をしていく道しるべにならないと感じます。基金が減っていくことに不安はあると思いますが、運営が困難な状態にならないように支援をする準備は整えたいと思います。

これまでの経営改善5年計画の中で収入も上がっておりますので、より良い経営となるように今後も話し合いをしていきたいと思っております。

□榎西議員

施設の大規模改修によつて業務が効率化され、職員の負担軽減につながりますか。

■村中町長

大規模改修は、施設自体の老朽化への対応を図るとともに、入所者を第一に考えた改修であり、働く方にとつてもより良い環境となるのが大切だと思います。

また、様々なデジタル技術を使った介護施設、設備、機器等もありますので、必要で効率的なものについては、積極的に導入してほしいと考えます。

□榎西議員 利用者のプライバシーに配慮した改修が大事だと言われていますが、介護職員の負担を下げるための大規模改修であることが必要だと考えます。

■村中町長

大規模改修が直接的な職員の負担軽減につながるものではないと思いますが、機器の導入により職員の負担を軽減し、より質の高いサービスが行われることを願っています。

□榎西議員

人材育成やICTの活用による効率化について、行政として関わっていくことは可能か伺います。

■村中町長

本町に介護施設が存在することは住民の安心につながり、さらに質が高く安心して暮らしている施設であることが、より安心感につながると思いますので、サービスの質もよく、素晴らしい職員が揃っていることが大切だと思います。

今回の大規模改修により、今後数十年単位で施設を維持し、安心して暮らしていける町にしていくしたいと思います。

社会福祉法人と町の新しい会議体も持ち、それぞれの質の向上とサービスの向上に努めていきたいと思っております。